

7 財 財 第 7 9 号

令和 7 年 1 0 月 8 日

局 ( 区 ) 長

教 育 長

行政委員会事務局長 様

議 会 事 務 局 長

会 計 管 理 者

副 市 長

## 令和 8 年度予算編成方針について（依命通達）

### 1 市財政の現状と令和 8 年度の財政見通し

本市の財政は、税源の涵養に向けた取り組みを進めている中で、市税収入の決算額は、令和 6 年度で過去最大になるなど堅調な一方、法に基づく障害者介護給付や民間保育施設給付をはじめとする社会保障関係経費、市有施設の老朽化対策、物価高騰に伴う行政コストが増加し、これらへの対応のため、一般財源での負担を余儀なくされており、本市独自の施策展開に制約を受けている。また、それらの財政需要の中には、国の地方交付税措置や公定価格への反映等が十分とは言えないものもあって、歳入の増を歳出の増が上回る状態が恒常化しており、深刻な収支状況にある。

また、令和 6 年度の一般会計決算では、前年度並みの 3 0 億円の実質収支

を確保し、各種財政指標については、いずれも中期財政運営方針に掲げる目標値の範囲内となっているものの、財政調整基金は、70億円の多額の取崩しにより残高が急激に減少しており、今後の活用額が限られていることなど財政上の課題がある。

このような中、新たに編成する令和8年度予算の収支見通しは、歳入が、引き続き、市税収入の堅調な推移が見込まれる一方で、歳出では、従来からの社会保障関係経費、市有施設の老朽化対策、物価高騰に伴う各種行政コストが更に増加することに加え、人件費や金利上昇に伴う公債費などの財政需要の増が見込まれることから、一層厳しさが増す見通しである。

このほか、米国の関税措置による市税収入への影響や、ガソリンの暫定税率の扱いを含む税制改正のほか、物価高騰の影響に対する地方交付税等の財政措置の状況、学校給食費の無償化といった新たな制度に対する国の財源措置など、本市予算編成への影響が大きい事項について、依然として動向が不透明であり、予断を許さない状況となっている。

加えて、財政調整基金は、物価高騰をはじめとした財政需要の増への対応のためにやむを得ず大幅な取崩しが続き、令和7年度当初予算においても、令和6年度末残高99億円のうち69億円の取崩しを計上するなど、令和8年度予算編成に活用できる額は僅少となっている。

こうしたことから、令和8年度は、これまで以上に、極めて厳しい財政状況が見込まれている。

## 2 予算編成における基本的な方針

このような収支見込みのもと、将来にわたり持続可能な財政運営と市民生活向上のため、令和8年度においても、少子・超高齢化や人口減少社会到来への対策、脱炭素化の推進のほか、老朽化したインフラ施設等の健全性の確保といった課題に的確に対応するとともに、都市の活力を維持するための施策に重点的に投資を行っていくものとする。

また、極めて厳しい財政状況が見込まれる中、こうした取組みの財源を確実に確保するため、職員の創意と工夫により、あらゆる歳入の確保や既存事務事業の大胆な見直しに取り組む必要がある。

こうした視点に立ち、令和8年度予算は、以下の項目を基本的な方針として編成する。

### (1) 持続的な財政運営に資する取組みの推進

持続的な財政運営に資する取組みを着実に推進するとともに、改善策については、的確に予算に反映させる。

特に、既存の事務事業については、社会状況等の変化を踏まえ、必要性や効果を検証し、徹底した整理・合理化を図るほか、公共料金の受益者負担の適正化を図るなど、市民生活への影響に配慮しつつ、あらゆる歳入確保、歳出削減策を講じる。

### (2) 第2次実施計画事業等の推進

新たに策定する第2次実施計画の初年度として、事業費の精査を行った

うえで、事業の着実な推進を図る。

また、子育て、教育、医療、介護、環境、防災、都市づくりなどを中心に、市民生活の向上や本市の発展につながる施策には重点的に予算を配分する。

### (3) 予算要求基準

#### ア 経常的経費

裁量的経費、あるいは削減余地のある固定的経費等については、別途通知した見積限度額以内で見積もること。

#### イ 臨時的経費

第2次実施計画事業にあつては、令和8年度計画額の範囲内で所要額を見積もること。

## 3 国の予算と地方財政

国における予算編成は、本市の予算編成にも多大な影響を及ぼすことから、今後明らかになる国の令和8年度予算編成や地方財政対策等の内容を踏まえ、適切に対応する必要がある。

このため、関係府省等への積極的な情報収集や働きかけを通じて、財源の獲得に努めるとともに、国の経済対策や補正予算に呼応した取組みについて、次年度予算を待たずに前倒しするなど、状況の変化に柔軟に対応できるよう留意すること。